



# 平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年2月8日

上場会社名 株式会社ファルテック  
 コード番号 7215 URL <http://www.faltec.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員  
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月12日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 文屋 仁志  
 (氏名) 篠田 好洋  
 TEL 044-520-0290

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	66,839	6.3	682	196.4	675	180.9	43	
30年3月期第3四半期	62,871	3.0	230	66.4	240	54.1	610	

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 30百万円 ( %) 30年3月期第3四半期 51百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	4.62	
30年3月期第3四半期	65.16	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	71,343	18,636	23.1	1,756.55
30年3月期	70,480	19,052	24.1	1,809.06

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 16,472百万円 30年3月期 16,965百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		43.33	43.33
31年3月期		0.00			
31年3月期(予想)				29.00	29.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	89,000	1.7	2,000	13.7	1,900	12.7	900	8.3	95.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期3Q	9,378,600 株	30年3月期	9,378,600 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

31年3月期3Q	628 株	30年3月期	624 株
----------	-------	--------	-------

期中平均株式数(四半期累計)

31年3月期3Q	9,377,974 株	30年3月期3Q	9,363,151 株
----------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループを取り巻く経営環境は、米国の保護主義的な政策の影響や米中の貿易摩擦に対する警戒感等により世界経済の不確実性が増している中、国内では堅調な企業収益や雇用等の改善傾向に支えられ、緩やかな景気回復基調で推移しました。

当社グループの属する自動車業界の概況は堅調に推移して参りましたが、海外における不確実性が増す中で先行きに不透明感が出てきております。

このような情勢の中、当第3四半期連結累計期間の売上高は、国内におけるミリ波レーダーカバー、電装品等の新商品販売増や新規車種立上げ効果等により66,839百万円（前年同期比6.3%増）となりました。

営業利益は、新規車種立上げ効果等により682百万円（前年同期比196.4%増）となりました。

経常利益は、営業利益増を主因として、675百万円（前年同期比180.9%増）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、43百万円（前年同期は610百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は、以下の通りであります。

## (日本)

売上高（セグメント間売上高を含まない）は、前第3四半期にはお客様の急速な減産の影響が含まれていたこと及びミリ波レーダーカバー、電装品等の販売増や新規車種立上げ効果等により、50,805百万円（前年同期比7.5%増）となりました。セグメント利益は、九州地区でのめっきラインの稼働準備費用の計上等があったものの、お客様の急速な減産影響からの回復や新規立ち上がり車種での操業増効果等により、501百万円（前年同期比132.3%増）となりました。

## (アジア)

売上高（セグメント間売上高を含まない）は、お客様の生産が堅調に推移したこと等により8,676百万円（前年同期比5.9%増）となりました。セグメント利益は、操業増効果等により、685百万円（前年同期比8.8%増）となりました。

## (北米他)

売上高（セグメント間売上高を含まない）は、新設ミリ波レーダーカバーラインの操業開始があったものの、その他製品についてお客様の生産減の影響等により、7,357百万円（前年同期比0.8%減）となりました。セグメント損失は、米国子会社においてお客様の生産減の影響及びミリ波レーダーカバー事業の生産準備費用の計上等があったものの、英国子会社の現場改善効果等により前年同期比58百万円改善し、510百万円（前年同期は568百万円のセグメント損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ862百万円増加し、71,343百万円となりました。この変動要因は、有形固定資産の増加3,487百万円、受取手形及び売掛金の増加802百万円、たな卸資産の増加622百万円に対して、現金及び預金の減少3,012百万円、子会社新規連結等に伴う投資有価証券の減少892百万円等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ1,277百万円増加し、52,706百万円となりました。この変動要因は、借入金の増加3,782百万円、電子記録債務の増加1,200百万円に対して、支払手形及び買掛金の減少2,134百万円、リース債務の減少795百万円等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ415百万円減少し、18,636百万円となりました。この変動要因として、株主に対する配当406百万円を実施しております。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ1.0ポイント減少し、23.1%となりました。

有形固定資産の増加については、将来への需要増への対応やものづくり力強化を目的とした設備投資を行っていくという方針のもと、当第3四半期連結累計期間において九州地区への投資3,557百万円を実施し、戦略商品のミリ波レーダーカバー事業の北米での新規立上げ対応として540百万円を実施しております。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、平成30年5月15日の「平成30年3月期 決算短信」で公表致しました通期の連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,130	10,117
受取手形及び売掛金	18,752	19,555
商品及び製品	3,067	3,490
仕掛品	664	595
原材料及び貯蔵品	2,717	2,985
その他	1,932	1,639
貸倒引当金	△14	△14
流動資産合計	40,250	38,370
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,155	9,695
機械装置及び運搬具(純額)	5,762	8,513
工具、器具及び備品(純額)	1,271	1,379
土地	6,991	6,991
リース資産(純額)	1,844	1,056
建設仮勘定	3,611	1,488
有形固定資産合計	25,637	29,124
無形固定資産	1,070	1,125
投資その他の資産		
投資有価証券	1,233	340
繰延税金資産	2,038	2,178
その他	257	210
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	3,522	2,723
固定資産合計	30,230	32,973
資産合計	70,480	71,343

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,759	9,625
電子記録債務	4,233	5,434
短期借入金	11,105	8,684
1年内返済予定の長期借入金	2,480	3,389
リース債務	1,282	849
未払法人税等	580	162
賞与引当金	800	451
課徴金引当金	249	-
その他	5,182	5,925
流動負債合計	37,673	34,521
固定負債		
長期借入金	6,044	11,339
リース債務	537	174
退職給付に係る負債	5,949	5,378
再評価に係る繰延税金負債	1,007	1,007
その他	216	285
固定負債合計	13,755	18,184
負債合計	51,428	52,706
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,291	2,291
資本剰余金	609	609
利益剰余金	11,042	10,672
自己株式	△0	△0
株主資本合計	13,942	13,572
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	134	84
繰延ヘッジ損益	△0	△0
土地再評価差額金	1,935	1,935
為替換算調整勘定	1,851	1,645
退職給付に係る調整累計額	△898	△765
その他の包括利益累計額合計	3,022	2,900
非支配株主持分	2,086	2,164
純資産合計	19,052	18,636
負債純資産合計	70,480	71,343

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	62,871	66,839
売上原価	55,137	58,497
売上総利益	7,733	8,342
販売費及び一般管理費	7,503	7,659
営業利益	230	682
営業外収益		
受取利息	10	14
受取配当金	31	8
持分法による投資利益	20	47
未払配当金除斥益	-	53
その他	108	94
営業外収益合計	171	219
営業外費用		
支払利息	100	112
為替差損	38	57
その他	22	56
営業外費用合計	161	226
経常利益	240	675
特別利益		
補助金収入	-	17
特別利益合計	-	17
特別損失		
固定資産除売却損	20	25
減損損失	315	-
特別損失合計	336	25
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△95	666
法人税等	319	500
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△415	166
非支配株主に帰属する四半期純利益	195	122
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△610	43

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△415	166
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	435	△49
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△147	△279
退職給付に係る調整額	74	132
その他の包括利益合計	363	△196
四半期包括利益	△51	△30
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△282	△78
非支配株主に係る四半期包括利益	230	48



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	47,255	8,196	7,419	62,871	—	62,871
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,439	45	11	1,496	△1,496	—
計	48,695	8,241	7,430	64,367	△1,496	62,871
セグメント利益又は損失 (△)	215	629	△568	276	△46	230

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて、収益性が低下し投資額の回収が見込めなくなった事業用資産について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては315百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	50,805	8,676	7,357	66,839	—	66,839
セグメント間の内部売上高 又は振替高	850	109	22	982	△982	—
計	51,655	8,786	7,380	67,822	△982	66,839
セグメント利益又は損失 (△)	501	685	△510	676	6	682

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。